みんなの文芸

引間豐作選　投稿数23句

峡の径ぬくみつたわる濡れ落葉　下日野沢　引間富美子

(評) 初冬の午前、山里の路の落葉には、前夜に降りた夜露が陽に映えて美しい。しかもその落葉は、樹種によって、淡紅色・黄・赤等色さまざまであり、よく見ると露の玉のなかに虹彩の輝きが見てとれる。しかも足許の地面はまだ凍らず、ほんのりと温みを感じるほどで、それを作者は「ぬくみつたわる」と評している。冬銀河に肩の力を抜いて天体の美を堪能している様子や、尾根越しの隼の羽搏かぬ速度が手に取るように想像できる。笹鳴とは鶯が初冬にチャッチャッと鳴くことである。

ふと肩の力抜きたる冬銀河　皆野　太幡真由美
隼の尾根越えるまで羽搏かず　三沢　長谷河ソノ
庭手入れ終るを待たず時雨けり　皆野　関根　助市
瑠璃色にダム湖せき止む秋の雨　下日野沢　江野　鎰子
宿題の音読を聴く炬燵かな　皆野　引間　千鶴
人影のなき杣径や笹子鳴く　三沢　新井　民子
佗助の囲むバス停ここで待つ　下日野沢　髙山　ユウ
庭に咲く小菊たっぷり父母へ供華　皆野　大沼シヅ子
山眠る新居落成見とどけて　三沢　眞下　杏子
菜を穫りし屑おびただし冬ざるる　金沢　飯嶋満寿子
編み笠に初雪散らし河原の湯　国神　浅見　広行
玉砂利に木履の響き新年祭　金崎　堀口　輝吉

中田久恵選　投稿数20首

開戦を知らぬが多き日本いま七転八倒多難の師走　三沢　眞下　杏子

(評) 「十二月八日が近づくと戦中育ちはあふれる思いに胸をゆさぶられます」と後書きを書いて下さいました。第二次世界大戦のことです。現在の日本の人口の80%の人が戦争を知らないとのこと。決して忘れずに語り次がなければならないと思う。また「七転八倒多難の師走」と結んであり、今行われている師走選挙のことを詠まれている。ご立派な時事詠で胸にせまるものがあり感動致しました。来年こそは眞の復興と希望ある年になる様に祈ってやまない。

健康と無事は唯一の宝もの常に謝しつつ歳新たまる　三沢　新井　叶子
別れとはかくなるものか淋しさに涙し迷う免許返納　皆野　新井　愛子
亡き人を思う夜空は凍てついて孤独の月は我をながめる　皆野　豊田喜美恵
くる年の幸せ多きを祈りつつ喪中のはがきポストに落す　下日野沢　浅見　豊子
寒空に防災無線のたずね人夜を待たずして保護に安堵す　三沢　鈴木　貞恵
落葉路に宮沢賢治の歌碑のぞみ木々の透き間に片岩眺む　三沢　新井　民子
伊豆高原に療養の姉訪ねたる言葉重ねつ固き握手す　皆野　根岸　詩子
門灯に浮かぶ狭庭の冬紅葉孫帰る刻すでに過ぎおり　三沢　長谷河ソノ
真冬日に停電をしてローソクの灯りたよりに一人朝待つ　皆野　保科　従道
ベランダに陽ざしたっぷり残る午後干した布団を優しくたたく　皆野　引間　万亀
つり銭を受くるを忘れ声かけられ買い忘れなきかメモさがしいる　皆野　市川　岳樹
寒波来て秩父山々冬景色隣の猫も丸くなりたり　皆野　原　和幸
正月に活けるを待ちし南天に早も小鳥は啄みて去る　皆野　加藤マリ子
夫逝きてせめても一度あの世でも嗚呼会いたしと友の言いしを　高橋　尚子

俳句・短歌を募集

作品には、ふりがなをつけ、住所・氏名を明記して総務課へお寄せください。

8日必着

1人1句、1首に限ります。

1歳のお誕生日おめでとう

りのはちゃん

中大浜区
齊藤　幸良さん
さとみさん
いつもニコニコ
りいちゃん。
妹と仲良くしてね♡
パパ・ママより

蒼輔（そうすけ）くん

金崎区
中井　隆也さん
美佳さん
元気イッパイの蒼輔♡
たくさんの笑顔を
ありがとう。

莱虹（らに）ちゃん

上三沢区
横田　裕也さん
直子さん
いつもニコニコ
らにちゃん☆
元気に育ってね！

1歳になる赤ちゃんを募集しています

ご応募いただいた赤ちゃんは、全員掲載します。誕生月の前月10日までに総務課窓口（写真をご持参ください）または、町ホームページからお申し込みください。

問合せ　総務課企画政策防災担当　☎62-1231